

日本の伝統文化を次世代へ継承 こどもいけばな教室作品展を開催

笠間こどもいけばな教室実行委員会（代表 畑岡澄子さん）主催によるこどもいけばな教室作品展が2月6日～7日、笠間ショッピングセンター「ポレポレ」を会場に行われました。この催しは、子どもたちに日本の伝統文化を体験・習得させ、次世代への継承を確実なものとし発展させることを目的に文化庁の委託事業として行われているものです。当日は、小年生 29 名が、自分で作った笠間焼の花器にそれぞれ花を生けていました。



自作の花器に花を生けている子どもたち

“水と緑の里かさま”を考える 「かさま環境フォーラム」を開催

環境に配慮した生活を自ら実践しようと、2月13日、友部公民館で「かさま環境フォーラム」（主催：同実行委員会）が開催され、多くの市民が参加しました。第1部では、大久保泰邦さん（独立行政法人 産業技術総合研究所工学博士）による基調講演「地球に優しいエネルギーとは」が行われ、第2部のパネルディスカッションでは、パネラーがそれぞれの立場から、地球温暖化や環境対策を発表。地球温暖化防止のため、みんなで考え、行動することの大切さへの認識を深めました。



「2020年に向かって出来ること」をテーマに行われたパネルディスカッション

新記録達成！笠間名物 長～いそばいなり寿司巻き

笠間稲荷神社の参道で、「史上最長！ そばいなり寿司巻き」に挑戦するイベントが行われました。昨年の記録は 54.1 メートル。記録更新を目指して、市内外から約 180 人が参加しました。めずらしいイベントに、東京都や千葉県からの参加者もいました。地元の小学生2人をメイン司会に、わきあいあいとした雰囲気ながらも、真剣に、参道に一直線に並べられたテーブルに油揚げを広げ、そばとキュウリを置き、合図でいっせいに巻いた参加者の皆さん。見事 62 メートルの記録を達成しました。20センチほどに切り分けられた寿司を、参加者の皆さんは、今年の恵方の西南西に向かってほうばっていました。



キュウリを芯にしてそばいなり寿司巻きに挑戦中

長年の功績をたたえる 民間自治功労表彰

2月10日、県市長会による自治功労表彰式が市町村会館で行われ、市内の佐藤英男さん（笠間）と海老原元彦さん（笠間）を含む県内の功労者43名が表彰されました。佐藤さんは、長年にわたり区長を務め、合併後の初代区長会会長として地域福祉の向上や行政運営に大きく貢献されました。また、海老原さんは、長年教育委員長として、また合併後の社会福祉協議会初代会長として教育文化や地域福祉の発展に大きく貢献されました。



（左）海老原元彦さん、（右）佐藤英男さん

学校保健の普及と向上に尽力 文部科学大臣賞を受賞

東中学校は、茨城県教育委員会より平成18年度から3か年の学校保健・学校安全の研究推進校の指定を受け、研究主題を「^{いのち}生命の尊さを見つめ、^{いのち}自他の生命を守る生徒の育成」として取り組んできました。特に、学校保健においては生徒と保護者が課題を共有し解決のために積極的に学習し、その成果を地域に公開するなど、地域・家庭・学校が一体となつての取り組みが評価され、今年度、文部科学大臣より表彰を受けました。



親子での保健学習会の様子

ま ち の 話 題

良質な稲発酵粗飼料を生産 上稲田営農組合が優良賞を受賞

飼料作物の生産利用技術の向上を図り、自給飼料生産の重要性を啓発することを目的に開催された「平成21年度茨城県草地畜産コンクール」で、上稲田営農組合が見事優良賞に輝きました。収穫された稲発酵粗飼料は、適期に収穫、調製されたことから発酵品質も良好で、PH、色、成分などバランスに優れているとの評価をいただきました。同営農組合は、平成21年2月に設立され、はじめて生産された稲発酵粗飼料は、すべて市内の畜産農家に供給しました。



収穫された稲発酵粗飼料

人権教育講演会

相田みつを氏の長男で相田みつを美術館館長である相田一人さんを講師に迎え、2月13日、笠間公民館大ホールで人権教育講演会が開催されました。相田さんは「自分の番いのちのバトン ～父 相田みつをを語る～」を演題に、スクリーンに詩や写真を写しながら、「父は、書家であり、詩人でもある。シンガーソングライターのようなものだ。」など、ユーモアを交えながら、父相田みつをを熱く語りました。



ユーモアを交えながら、父相田みつをを語る相田一人さん

心のバリアフリーを目指して 『みんなの音楽祭』を開催

1月23日、笠間公民館大ホールで「第4回みんなの音楽祭」が開かれ、市内5つの障害者（児）施設をはじめ、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、ボランティア演奏グループのトワイライト、笠間市伝統文化日本舞踊こども教室が一堂に会しました。この音楽祭は、障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽の力で心のバリアフリーを目指すために開かれているものです。合唱、合奏、ダンス、舞踊等バリエーション豊かな発表が繰り広げられ、ステージと客席が一体となって楽しんでいました。



華麗な衣装を身に着け、意気の合ったダンスを披露